

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公

公表:令和6年2月 20日

事業所名 こぼんはうすさくら新川崎第二教室

保護者等数(児童数) 19名

回収数 19名

割合 100 %

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制 整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	18	1			作業をする場所等分かれていて、切り替えが出来る	
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	14	2		3	どのような専門性を持った職員がいるか分からない	ブログや毎月のこぼん新聞、保護者会などで発信していく
	3	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	9	4	2	4	外階段が急である	構造上作りは変更できないので、手擦りの使用や手つなぎを徹底する
適切な 支援の 提供	4	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	19					
	5	活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	17			2		
	6	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	4	3	3	9	あまり求めていないが、機会があれば良い	他者とのコミュニケーションやルールを守るなどの練習を積み重ねてから、実行したい。
保護者 への 説明等	7	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	18			1	契約が随分前なので覚えていない。	受給者証更新時に変更があった時などに改めて説明していく。
	8	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	19					
	9	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	17	1		1		
	10	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	5	1	9	4	自分の子どもと同じ特性をお持ちの保護者同士で情報交換したい。	年齢に応じた成長過程や先の情報を知る事で安心感につながる為、障がいの特性別に開催したい。
	11	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	11			8	保護者からの意見に迅速に対応してくれる	引き続き、情報の共有をしっかり行っていく。
	12	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	19				必要な事や特別個別な事はコミュニケーションアプリで伝達してくれる	電話や対面でお話の方が良い場合等、内容によって配慮していく。
	13	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	17			2		週1回のブログ配信に加え、今日の様子の写真投稿、月1回の活動の新聞の配布も行う。
14	個人情報に十分注意しているか	18			1			
非常時 等の 対応	15	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	15	1		3		災害伝言ダイヤルのテストを実施したり、避難訓練の情報共有、感染対策のマニュアル共有等をする。
	16	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	14			5		避難訓練を定期的に行い、ブログ等で配信する。
満足 度	17	子どもは通所を楽しみにしているか	19				楽しみに通っていて「今日はこぼんさん？」と確認してくる	保護者様からの嬉しいお言葉も職員全員に共有していく。
	18	事業所の支援に満足しているか	19				支援のおかげで成長したと思う。	子ども達の将来を見据えて今から出来る支援を続けていきたい。

272 13 14 43

80%

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6年 2月 20日

事業所名 こぱんはうすさくら新川崎第二教室

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	8			
	2	職員の配置数は適切である	6	2		アルバイト求人を行い手厚い支援に繋げていく事とグループ分け支援等を行う。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	4	3		外階段の登り下りについて、共通認識を持つようにする。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	8		月に1回個別課題会議で目標や課題に対しての意見交換が行われている。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5	1		毎回会議を開き、保護者の意向を尊重すべきだ。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	3	3		本部のホームページだけでなく、教室のブログ等でも公開を検討していく。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	5	2	スーパービジョングループセッションや、社内クリニカルアドバイザーの意見などをお聞きしている。	
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	8			社内規定の義務化された研修、および、個人の資質向上のために、半年以内に8Hの研修講座受講義務がある。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	8			
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	5	2	決められた書式のアセスメントツールがある。	全職員が共通認識をもてるように説明する。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	8		月1回プログラムミーティングを開催している。	ミーティング参加者全員が意見を言えるような環境作りをしていく。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	8		毎月1つは新しいプログラムを取り入れている。	目的別に担当者を分ける等偏りがないようにする。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	7	1	個別に課題も提供して支援している。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	8			支援者が個々に理解できるように更なる周知が必要
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	7	1	毎回細かい役割分担はしていないが普段と異なる物やプログラムでは事前に職員が把握できるシステムを実施している。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	4	3	支援について気になる事がある時は、社員感で話し合う。	概ねできているが、忙しい日にはできなかったり、参加できない人がでてくる。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6	2	業務日報に記録はつけているが、簡易的である。	記録の重要性やとりかたを共有していく。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	5	2	毎月1回個別支援会議があり話し合いの場がある。	職員間で共通認識が持てるようにする。
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	4	2		アンケート結果を基に会議を行い、実践していく。	
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	7			
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	8			

関係機関や保護者との連携	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		6	該当児どうがない。	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	1	4		
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	1	5	該当児どうがない。	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	6		社内、外部研修共に受講している。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		7	保護者のニーズが掴みにくい。現状難しい。	まずは教室内や他教室との交流を深めていく。色々な練習をしながら段階的に進めていく。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	1	4		近隣の他事業所とも会議等の機会を設ける。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	8			担当者を決めて対応していった方が良いと思う。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	2	5	予定はあるが、準備段階。	特設保護者会を開く為に、資料や外部研修を受講するなど、職員の対応力向上にも努める。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	8			
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	7	1		
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	2	3	少人数で行う事は出来たが、全体では出来ない。	特設保護者会や親子参加のイベント等交流の場を増やしていく。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	8			
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	7		週1回でブログで活動を配信している。定期的に日々の写真も送るようになっていく。	
	35	個人情報に十分注意している	8			
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	8			
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		5	夏祭りは招待したが機会が少ない。	地域の方も参加していただけるようなイベントを検討中。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	5	1		マニュアルの再配布を検討。ロールプレイング研修も取り入れる。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	8		避難訓練が行われている。	災害別の訓練も取り入れていく。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	8			
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	6		該当児どうがない。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	7			
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6	2	パソコンの共通メールで見れる環境にある	ヒヤリハット報告が会った際は、アナウンスして共有する。